

富山市教育委員会会議録
令和6年7月定例会

1 日 時 令和6年7月22日(月曜日)

午後 1時30分 開会

午後 3時20分 閉会

2 場 所 Toyama Sakura ビル8階 教育委員会室

3 出席委員

教 育 長	宮 口 克 志
委 員	若 林 啓 介
委 員	藤 井 久 丈
委 員	高 田 健
委 員	石 動 瑞 代

4 説明のために出席した者

事務局長	関 谷 雄 一
事務局次長（総務・社会教育担当）	高 橋 洋
事務局次長（学校教育担当）	福 満 弘 信
教育総務課長	青 山 哲 也
学校再編推進課長	山 崎 悟
学校施設課長代理	庄 司 泰
学校教育課長	河 原 弘 幸
学校保健課長	由 水 正 恵
生涯学習課長	加 藤 孝 一
教育センター所長	荒 瀬 誠
教育行政センター所長	横 越 純
市民学習センター次長	寺 島 優 子
図書館長	長 康 博
郷土博物館長	坂 森 幹 浩

5 職務のため会議に出席した事務局職員

教育総務課主幹	船 木 寛 人
---------	---------

教育総務課長代理（管理係長）
教育総務課主任
教育総務課主事

塚 本 紘 己
宮 成 暁 音
福 島 魁 人

6 傍聴人数 0人

7 付議案件

（１）議 案

議案第28号 教育委員会事務管理執行状況点検評価報告書（案）について

（２）報告事項

報告事項19 学校選択制について

（３）その他

その他13 第40回薬師岳美化行進について

その他14 富山市八尾化石資料館企画展「貝の化石がおしえる」

その他15 富山市大山歴史民俗資料館企画展「常願寺川と水力発電」

その他16 富山市佐藤記念美術館企画展「富山の美術」

8 会議の要旨

【開会】

[教育長] 開会を宣言する。
本日は、委員が全員出席しているため、会議は成立している。

【前回会議録について】

[教育長] 6月教育委員会定例会会議録について意見等を求める。
[各委員] （意見なし）
[教育長] 意見なしのため、前回会議録は承認された。

【議案第 28 号】

- [教育長] 議案第 28 号について事務局から説明を求める。
- [教育総務課長外] (議案第 28 号、概要及び基本施策 1 から 3 について説明)
- [教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
- [石動委員] 28 ページの体力の向上について、実績数値は令和 4 年度より向上しているが、目標数値に達していないため、達成状況は「C (予定よりやや遅れている)」となっており、なかなか向上しないことが分かった。今後の方向性として、体育科の授業改善に取り組むことも理解できるが、この調査だけでは、子どもたちが持つ実際の体力を測ることはできないと思う。富山市の子どもたちの体力について、調査以外で総合的に考えてみると、例えば都会の子どもに比べて、公共交通機関ではなく自家用車を利用することが多く、生活上歩くことが少ない。家庭での運動習慣というか、日常生活で「動く」ということが不足しているように思う。26 ページに「教員の働き方改革による学校行事の見直しで、立山登山を実施する学校が減少傾向にある」と記載されており、学校行事でも歩くことが少なくなっている。日常生活の中に基本的な運動を取り入れるなど、何か指導・支援の方向性は考えているか。
- [学校教育課長] 歩く達成感のような「やり遂げる」ということを実感できるよう、校外行事など様々な面で工夫している学校もあると聞いている。この調査だけでいうと、小学校・中学校ともに全国平均を上回っているが、石動委員の指摘通り、立山登山も一時期よりは減少してきている。中学校でいえば部活動の時間が短くなってきており、運動時間は減少している。今後は、生活全体を通じて運動をするという働きかけを、学校に呼び掛けていかなければならないと考えている。
- [石動委員] 立山登山が減少している理由は、体力的に子どもたちがしんどいなどではなく、教員側が大変ということによいか。
- [教育長] 新型コロナウイルス感染症の流行で、宿泊を伴うなどの集団での行事が大きく減少し、現在もそのままだ状況が続いている。富山市在住だが、学校行事以外で立山登山をしない家庭・子どもたちがいることも踏まえて、やはり一度は富山県が誇る立山に登ってみてはどうかと、保護者等への働きかけが必要になってくると思う。富山市では「立山登山奨励事業」として、一人当たり 1,300 円の補助金を交付しているので、しっかりと参加を促していきたい。また、働き方改革が全てではなく、朝、登校した子どもたちと先生と一緒に走ったり、授業間の休みに鬼ごっこをする小学校もある。一

方で、下校時刻を早めるために長休みを少し短縮するという動きも出てきている。子どもたちの健康・体力・運動能力の向上について抜本的に考えていくため、石動委員が言われたようなことも含めて、校長会等で意見交換していく必要があると思う。

[藤井委員]

29ページの生活習慣病の予防について、目標指標に「すこやか検診の結果、健康な児童・生徒の割合」とあるが、検診を実施した指数のことか。

[学校保健課長]

この目標指標は、すこやか検診で要医療・経過観察の判定を受けていない児童生徒の割合、つまり異常がなかった児童生徒の割合である。令和5年度の目標数値93%は、93%の児童生徒に異常がないということだが、実績数値は84.7%であり、約15%の児童生徒が要医療・経過観察の判定を受けているということである。

[藤井委員]

令和4年度と比較すると、健康な児童・生徒の割合は増えているが、すこやか検診の受診率は低下しているということか。

[学校保健課長]

その通りである。

[藤井委員]

食事を簡単に調理できる便利な時代になったことや、物価の高騰なども影響しているかもしれないが、家庭での食事内容の質が落ちてきているのではないか。そのようなことを何か察することはできるのか。

[学校保健課長]

そのようなことも、間接的には考えられると思う。昨年度より受診率が減少した原因を追求するため、養護教諭や検診をしている富山市医師会に聞き取りを行った。その結果、すこやか検診が任意であることから、検診に無関心な層が増えていたり、血液検査で使用する注射器を怖がる子どもが受診を嫌がり、保護者もそれを許容しているのではないかなど、検診に対する意識の変化も影響しているかもしれないと考えられる。食習慣だけでなく、SNSやインターネットとの関わりなどの生活習慣も、検診結果につながっているのではないかとということで、令和6年度は事前アンケートを一部見直した。

[藤井委員]

今後、より細やかな調査をし、深く考察していくということが分かった。

[教育長]

後ほど、全体を通して質問等の時間を設けることとする。引き続き、議案第28号について事務局から説明を求める。

[学校教育課長外]

(議案第28号、基本施策4から7について説明)

[教育長]

ここまでについて、質問等あるか。

[高田委員]

34ページの学校選択制の実施について、課題に「生徒の通学範囲が広がり、教員の負担が大きくなっている」とあるが、どのような負担なのか。

- [学校教育課長] 家庭訪問を実施する必要がある場合、広範囲の移動になるが、そこまで大きな負担ではない。
- [石動委員] 45ページの基本施策5の評価・分析に、令和6年1月にアンケートを実施したとあるが、どのような内容なのか。また、何か特徴的なことがあれば教えてもらいたい。
- [教育センター所長] まず、教職員に対して「一週間の使用頻度」を主に聞いており、その結果を基に、活用状況は向上していると判断した。その他に「WEB会議システムを使用しているか」や、子どもたちには「端末を自宅に持ち帰り、どれだけ活用しているか」などを聞いている。端末の持ち帰りに関しては、当初から小学校ではほぼ全ての学校で行われていたが、中学校ではまだ様子を見ながらという実態だった。近年も大きな変化はないが、中学校でも持ち帰りを行う学校が増えてきている。全体的に伸びてきているが、学校によって進行に違いがでてくることから、利活用の格差に関して気になっている。
- [藤井委員] ICT利活用の進行の格差に関しては、当然、教員も勉強してレベルを上げており、差はなくなってきていると思う。家庭環境という面でもWi-Fi環境がない児童生徒に学習用モバイルルーターを貸し出すなど活用が進んでいる。子どもに対してだけ教育すれば、活用状況はどんどん伸びていくかもしれないが、家庭内の活用格差について、地域性、あるいは家庭の家族構成なども影響しているのではないかと。そのあたりで何か感じるところはあるか。
- [教育センター所長] その視点で分析したものを持ち合わせていないので、今後の調査の際は新たに着目していきたい。家庭での活用に関しては、家庭学習として、学校がどのような課題を出しているかということも大きく影響してくる。また、最近は連絡帳に代わるようなものを一人一台端末で行うなど、子どもが端末を開くことは日常化していると考えている。さらにその先の活用になると、授業改善も含まれてくる。端末をただ開いて調べるだけでなく、それを用いた探求的な活動や、自分で課題を決めて学習することが進んでいる学校になればなるほど、子どもたちは家庭でも同じように、自立的に活用することができる。授業での活用が、ただワークやドリルなどをやるだけだと、家庭での使用もそこまで伸びていかない。具体的なデータに基づいて説明しているわけではないが、現在のこの結果から分析すると、そのような傾向があるのではないかと考えている。
- [藤井委員] 家庭内で子ども本人ではない家族が、端末を活用しているかどうか気になっている。格差が出てきている原因とまではならないと思うが、もし影響しているのであれば、何か対策が必要なのかが

気になった。
 [教育長] その他、質問等あるか。
 [各委員] 質問等なし。
 [教育長] 引き続き、議案第 28 号について事務局から説明を求める。
 [学校施設課長代理外] (議案第 28 号、基本施策 13 について説明)
 [教育長] ここまでについて、質問等あるか。
 [各委員] 質問等なし。
 [教育長] 引き続き、議案第 28 号について事務局から説明を求める。
 [図書館長外] (議案第 28 号、基本施策 14 から 18 について説明)
 [教育長] ここまでについて、質問等あるか。
 [若林委員] 令和 5 年度は第二期富山市教育振興基本計画の最終年ということ
 を、どこかに記載した方がよいのではないかと。また、第二期富山市
 教育振興基本計画に対して、富山市教育委員会の活動がどのよう
 なものだったのか、ある程度の成果があったのか、あるいは新たな
 問題が出てきたのかなど、5 年間の振り返りをどこかに記載して
 もらえたらよいのではないかと思います。ただ、この時期は新型コロナ
 ウイルス感染症が 2 類相当の時期と重なっていたので、かなり難
 しい状況だったのではないかと私は思う。また、第三期富山市教育
 振興基本計画もすでに策定されているが、92 ページにある学識
 経験者の意見に、今後の方向性について書かれており、一部の評価
 項目については少し変わってくるのではないかと思いますので、その
 あたりも記載してもらえたらよいのではないかと。
 [教育総務課長] 記載についてどのようにするのか、すぐにこの場で答えることは
 できないが、若林委員が言われたとおり、令和 5 年度は第二期富山
 市教育振興基本計画の最終年である。特に、新型コロナウイルス感
 染症の影響で、計画の進みが非常によくなかったことが、とても大
 きい印象の一つである。それも踏まえて、すでに第三期富山市教育
 振興基本計画も策定しているので、総括的なものをどのように記
 載することができるかについては、考えたいと思うが、最終年であ
 ることが分かるようにはしておきたい。
 [教育長] その他、質問等あるか。
 [石動委員] 全体を通してだが、評価項目が気になっている。第二期富山市教育
 振興基本計画に沿ったものであるが、年度が替わっても評価はそ
 れほど変わっていない。令和 5 年度だけをみても、事業がしっかり
 あるものは決算額が出ていて、その事業の評価になっているが、事
 業がないものは、取組みに対する評価となっている。特に気になっ
 た項目が、30 ページの食育の推進について、目標指標として「食
 材に関する体験学習会の開催」と「学校給食における地場産野菜等

の品目数」を取り上げ、その実績もあるが、食育の推進に対してできることは他にももっとたくさんあると思う。ずっとこのままの目標指標でいいのかどうか。また、47ページの幼児教育の充実について、幼稚園・小学校・中学校の連携の中で教育を考えるという流れの中にあるが、富山市は公立幼稚園が少ないため、取組みの内容も非常に少なくなっている。基本施策14（家庭における教育力の向上）の取組みに、子どもの読書活動の推進があり、これは非常に大事だと思う。しかし、家庭における教育力の向上に、一人一台端末を使った家庭でのICT活用が関連してくるとしたら、子どもの読書活動の推進だけではなく、保護者に対しても適切なICT活用を知らせるなど、次年度以降に何か新しい取組みを記載することができればいいと思う。

[教育総務課長]

第二期富山市教育振興基本計画を振り返り、令和4年度までの実績や点検評価の内容も踏まえて、教育委員の皆様から意見をいただきながら、昨年度に第三期富山市教育振興基本計画を策定した。取組みが進まないものは、より強化した内容にしたり、事業が完了したものや時代の変化に合わないものに関しては、取組みそのものを見直すなどして作り上げたと思っている。ただ、指摘されたところが全て反映されているかというと、十分ではない部分もあると思う。今後も当然さまざまな変化が出てくるが、そこは各所属の実際の個別の取組みの中で強化していき、評価できるものは評価していきたい。ちなみに、参考指標（数値目標）の設定については、第二期富山市教育振興基本計画は16項目であったが、第三期富山市教育振興基本計画では20項目に増えている。内容としては、学校施設の耐震化率のように100%達成しているものなど2項目を外し、基本施策の成果として測る指標になり得るのではないかというものを新たに6項目加えている。

[学校保健課長]

食育の推進については、授業や総合的な時間など、給食だけではない側面、家庭との連携、共食への取組みなど、KPIに設けにくい項目もある。今後、取組みや効果について、表現できるものを考えていければと思う。

[教育長]

議案第28号全体を通して、その他、意見等あるか。

[各委員]

意見等なし。

[教育長]

議案第28号について、委員からの指摘部分について修正・追加等したもので学識経験者の知見活用を実施するものとし、可決した。

【報告事項 19】

[教育長] 報告事項 19 について事務局から説明を求める。
[学校教育課長] (報告事項 19 号について説明)
[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
[各委員] 質問等なし。

【その他 13～16】

[教育長] その他 13～16 について事務局から説明を求める。
[教育行政センター所長] (その他 13～15 について説明)
[郷土博物館長] (その他 16 について説明)
[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
[若林委員] 薬師岳の美化行進の参加人数が、年々減少しているのはなぜか。
[教育行政センター所長] 薬師岳美化行進は、昭和 60 年に旧大山町の事業として開始して以来、原則として毎年 1 回実施されてきたが、令和 2 年度と令和 3 年度はコロナ禍のため中止した。それ以降、大きく減少しており、中止の影響はかなり大きい。どのようにすれば参加者を増やすことができるのか、助言をお願いしたい。
[若林委員] 最近の中学生がどのように考えているかなどの考え方の変化、登山をする人たちの年齢層など、分析してもらえると助かる。予算要求もしている伝統的な行事なので、ぜひ調べてもらえればと思う。

[教育長] 以上をもって本日の会議は終了したが、その他、質問はあるか。
[各委員] 質問等なし。

【閉会】

[教育長] 閉会を宣言する。